子ども総合支援センターだより

そだちのWA!

2026年　6月1日

保育所・幼稚園、学校現場で役立つ情報を紹介していきますので、参考にしてください。

実態把握について

４月、関わる子どもを目の前にしたとき、誰しも戸惑うことが多いのは当然です。もちろん、子どもたちもそれは同じです。子どもたちの実態把握をすることで、いくつかのメリットが見えてきます。
①学習・生活面の配慮を考える→適切な支援ができる　②得意なことを伸ばし、苦手なことを補う→子どもの強みを活かせる　③関係機関等との連携をスムーズにする→保護者や外部の関係機関と情報共有できる　④なぜその行動をとるのかを知る→行動の背景を理解できる　などが考えられます。どうしても、「できること」「苦手なこと」に視点がいく傾向がありますが、それだけではなく「どのような環境なら、この子が力を発揮しやすいか」を考えることがもっとも大切ではないでしょうか。

《実態把握の具体的な方法》

①日頃の生活の観察

（観察のポイント）
・学習の様子（集中できる時間・興味ある教材や課題の取り組み方）
・対人関係（先生や友達との関わり方・好きな遊び・関わりを避ける場面）
・身体の動き（運動の得手不得手・姿勢の維持・不器用さ）
・生活習慣（食事・排泄・身支度の様子）
・感情表現（喜怒哀楽・不安などの表し方）→どんな場面が多いのか

②他者とのかかわり方

子ども同士のやりとりを観察し、どのような関係性を築いているかを把握する。
・自分からの積極的な関わりか
・困ったときに助けを求められるか
・決まった相手とだけ遊ぶか一人遊びなのか

③事前の保護者・外部機関との連携

家庭や過去の様子を知ることで、適切な支援につなげられる。
・保護者から（生活習慣・好きなこと・困りごと）
・前年度の記録（成長の様子・得手不得手なこと）
・外部の専門機関からの意見（心理士・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・福祉課担当職員など）
★子どもの成長を長期的な視点で捉えることが大事！

教材レンタルサポート　子ども総合支援センターにある、教材を使ってみませんか？
自立活動に使えるゲームや、授業づくりの参考になる本がたくさんあります！
右のQRコードから探してみてください。
センターに来てくださって実物を見て借りていただくのも大丈夫です。
ぜひご検討ください！！　※レンタル後、簡単なアンケートにご協力ください m(_)m

夏の学びカフェ（保幼・小・中の先生方対象研修）
今年も夏休みに特別支援教育に関する研修を子ども総合支援センターにて行います。またチラシをご参照ください。
たくさんのご参加をお待ちしております！